65歳以上の方へ※1 新型コロナワクチンについて考えてみませんか。

新型コロナウイルス感染症は65歳以上で重症化・死亡のリスクが高くなります。2025年には約21,000人の方が亡くなり、そのうち約98%が65歳以上の方でした。

1 ワクチンの効果

新型コロナによる入院を
約60%予防

国内の60歳以上の人において、2024/2025シーズンに用いられたJN.1系統対応1価ワクチンを接種した人は、未接種の人と比較して入院するリスクが63.2%低下したと報告されています。

出典：VERSUS Study 第12報(2025)，Vaccine Effectiveness Real-time Surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS) study　長崎大学熱帯医学研究所 https://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/versus/

2 接種対象者

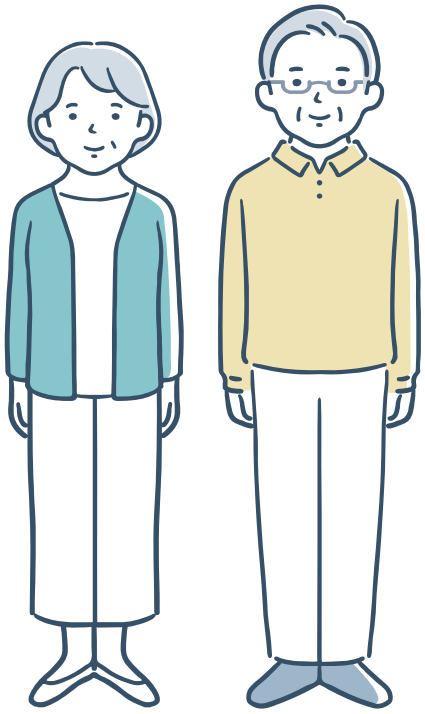
※1
65歳以上の方

または **60～64歳で**

心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の周りの生活を極度に制限される方。

ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

今年はどうしよう？
私たちは対象かな？



3 接種できる期間

10月1日～翌年3月31日

なるべく年内に

※自治体によって実施期間が異なる場合があるため、お住まいの市町村にお問い合わせください。
※接種のお申し込み・お問い合わせはお住まいの市町村にご連絡ください。

4 ワクチンの安全性

各社のワクチンの主な副反応として、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等が報告されています。また、頻度は不明ですが、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎が知られています。(心筋炎、心膜炎は、mRNAワクチンのみ)

5 予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあるため、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込む時は、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村に御相談下さい。

接種のお申し込み・お問い合わせはお住まいの市町村にご連絡ください

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

各ワクチンの特性等の詳細はこちら

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報について、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。